

## 第 5 次豊田市障がい者ライフサポートプラン等に係る 実態調査の実施について

### 1 調査の目的

障がい者の日常生活の状況やニーズなどを把握・分析するとともに、当事者や関係者の意向、課題認識等を抽出することにより、令和 3 年 3 月に策定した「第 5 次豊田市障がい者ライフサポートプラン」の見直しや今後の障がい者施策の推進に向けた基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査の概要

調査種別	障がい者等実態調査	市民意識調査	事業所調査
調査対象	・障がい者手帳所持者 ・特定医療費（指定難病）受給者証所持者	18 歳以上の市民	市内のサービス提供事業所(法人)
調査数	3,000 人	1,000 人	約 130 か所
抽出方法	手帳等の種別で偏りが出ないように抽出	無作為抽出	全法人
前回の回収率 (R1 年度)	51.2% (1,537/3,000 人)	45.5% (455/1,000 人)	75.2% (67/89 法人)

※障がい者計画の策定 or 見直しを実施する年度の前年度に毎回実施（3年に一度）

### 3 調査内容（案）

前回の調査項目を基本にしつつ、法律等の制定や制度の改正など、障がい者を取り巻く社会状況の変化を考慮して設計 ⇒ 詳細は別紙参照

**【主な追加項目】スポーツ・文化芸術の活動状況、インクルーシブ教育に関する意向、  
歯科診療の実態、相互理解と意思疎通に関する条例の認知など**

調査種別	障がい者等実態調査	市民意識調査	事業所調査
頁数	18 (20)	7 (7)	7 (8)
設問数	67 (61)	25 (22)	18 (18)

※かっこ内は前回(R1 年)実施の数値

### 4 調査の想定スケジュール

時期	内 容
7～8月	調査票の調整
9月末頃	調査票の発送（回答期間は3週間程度を想定）
10月	調査票の回収、入力
11月	調査結果の集計
12月	調査結果の分析、報告書（案）の作成
1月	報告書の完成・公表

## 1 障がい者等実態調査の主な変更点

問	項目	内容
20 (新規)	質問概要	<b>各種障がい者手当の生活費への利用状況</b>
	理由など	市独自の手当に関する現状確認
27 (新規)	質問概要	<b>地域生活支援拠点等の機能の優先度</b>
	理由など	・地域生活支援拠点等の当事者ニーズの把握 ・「障がい福祉計画」の成果目標達成のための検討材料
36 (新規)	質問概要	<b>障がい児の就労・就学の意向</b>
	理由など	「障がい福祉計画」の見込量算出のための検討材料
37 (新規)	質問概要	<b>障がい児のインクルーシブ教育・保育に関する意向</b>
	理由など	「障がい者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて（中間整理）」（令和3年12月、社会保障審議会障害者部会） ⇒インクルージョン推進のための障がい児通所支援の見直し
38 (新規)	質問概要	<b>スポーツ・文化芸術の活動状況</b>
	理由など	施策分野9の成果指標算出
39 (変更)	質問概要	<b>災害発生時の初動支援</b>
	理由など	今後の防災対策の検討材料
45、46 (新規)	質問概要	<b>歯科診療に関する実態把握</b>
	理由など	障がい者の歯科保健・歯科医療の充実に向け、障がい歯科の現状を把握
52 (変更)	質問概要	<b>意思疎通に関して使用するツール</b>
	理由など	「障がい者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律」施行（令和4年5月） ⇒意思疎通支援に関する取組への参考情報
55 (新規)	質問概要	<b>「地域共生社会」についての認知や考え方</b>
	理由など	障がい者差別解消法、条例に関する認知度や内容への共感
56 (変更)	質問概要	<b>障がい者への差別や偏見の解消状況</b>
	理由など	問55と同様
57 (新規)	質問概要	<b>『相互理解と意思疎通に関する条例』に関する認知度</b>
	理由など	R3年4月に施行した条例の認知度調査
58～61 (変更)	質問概要	<b>障がい理解や配慮等の事例</b>
	理由など	問55と同様
62 (新規)	質問概要	<b>障がい理解や配慮の促進に向けた必要な取組</b>
	理由など	障がい者支援に関する需要の調査

## 2 市民意識調査の主な変更点

問	項目	内容
8 (新規)	質問概要	<b>障がい者との関わりについて</b>
	理由など	・「障がい者差別解消法」施行5年後の検証 ・相互理解と意思疎通に関する条例施行後の検証
17 (新規)	質問概要	<b>「地域共生社会」についての認知や考え方</b>
	理由など	障がい者差別解消法、条例に関する認知度や内容への共感
19 (変更)	質問概要	<b>障がい者への差別や偏見の解消状況</b>
	理由など	問17と同様
20 (新規)	質問概要	<b>『相互理解と意思疎通に関する条例』に関する認知度</b>
	理由など	R3年4月に施行した条例の認知度調査
23 (新規)	質問概要	<b>豊田市の暮らしやすさ</b>
	理由など	障がい者等実態調査で聞いていた同問を市民にも聞くことで、暮らしやすさに対する感度の比較

## 3 事業所調査の主な変更点

問	項目	内容
10 (新規)	質問概要	<b>地域生活支援拠点等の機能の優先度</b>
	理由など	・地域生活支援拠点等の当事者ニーズの把握 ・「障がい福祉計画」の成果目標達成のための検討材料

## ～ 障がい福祉に関するアンケート調査へのご協力のお願い ～

日頃から豊田市の障がい福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
豊田市では現在、令和3年3月に策定した「第5次障がい者ライフサポートプラン」に基づき障がい者施策の推進に取り組んでいます。この度、皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意向などを把握し、より一層の計画・施策の推進に役立てるため、この調査を実施することとしました。

この調査の対象者は、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証をお持ちの方から無作為抽出で選ばせていただきました。  
この調査は、無記名で回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、回答いただいた内容は、統計的にまとめ、障がい者施策の推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使うことは一切ありません。  
調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

## &lt; 記入にあたってのお願い &gt;

- この調査は、宛名の本人が回答ください。宛名の本人が、直接回答することが難しい場合には、本人の意向を尊重して記入してください。(項目によっては記入される方の判断でお答えください。)
- 記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて●月●日(●)までにご返送ください。

※この調査への質問などは、下記までお問い合わせください。

## 【問い合わせ先】

豊田市役所 福祉部 障がい福祉課 計画担当

電話：0565-34-6751

ファックス：0565-33-2940

メール：shougai\_hu@city.toyota.aichi.jp



問5 <sup>しんたいしやう</sup>身体障がい者手帳<sup>しやてちやう</sup>をお持ちの場合、<sup>も</sup>障がいの種類<sup>しやう</sup>をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. <sup>しかくしやう</sup> 視覚障がい  | 2. <sup>ちやうかくしやう</sup> 聴覚障がい・ <sup>へいこうきのうしやう</sup> 平衡機能障がい |
| 3. <sup>おんせい</sup> 音声・ <sup>げんご</sup> 言語・ <sup>きのうしやう</sup> そしゃく機能障がい | 4. <sup>したいふじゆう</sup> 肢体不自由 (上肢)                            |
| 5. <sup>したいふじゆう</sup> 肢体不自由 (体幹・ <sup>うんどうきのう</sup> 運動機能)             | 6. <sup>したいふじゆう</sup> 肢体不自由 (下肢)                            |
| 7. <sup>ないぶしやう</sup> 内部障がい (1～6以外)                                    |   |

問6 あなたは、<sup>りやういくてちやう</sup>療育手帳<sup>も</sup>をお持ちですか。(○は1つ)

- |                        |                        |                        |                        |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. <sup>はんてい</sup> A判定 | 2. <sup>はんてい</sup> B判定 | 3. <sup>はんてい</sup> C判定 | 4. <sup>も</sup> 持っていない |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|

問7 あなたは、<sup>せいしんしやう</sup>精神障がい者<sup>しやほけんふくしてちやう</sup>保健福祉手帳<sup>も</sup>をお持ちですか。(○は1つ)

- |                      |                      |                      |                        |
|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| 1. <sup>きゅう</sup> 1級 | 2. <sup>きゅう</sup> 2級 | 3. <sup>きゅう</sup> 3級 | 4. <sup>も</sup> 持っていない |
|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|

問8 あなたは<sup>なんびやう</sup>難病<sup>にんてい</sup>の認定<sup>う</sup>を受けていますか。(○は1つ)

※<sup>なんびやう</sup>難病とは、<sup>なんびやうほう</sup>難病法<sup>さだ</sup>に定める<sup>ちりやうほう</sup>治療法<sup>かくりつ</sup>が確立<sup>きしやう</sup>していない<sup>しつぺい</sup>希少な<sup>ちやうき</sup>疾病<sup>りやうやう</sup>であって、<sup>ひつやう</sup>長期<sup>しつぺい</sup>の療養<sup>しつぺい</sup>を必要とする<sup>しつぺい</sup>疾病<sup>しつぺい</sup>をいいます。

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. <sup>う</sup> 受けている | 2. <sup>う</sup> 受けていない |
|-----------------------|------------------------|

問9 あなたは、<sup>はったつしやう</sup>発達障がい<sup>しんだん</sup>として診断<sup>しんだん</sup>されたことがありますか。(○は1つ)

※<sup>はったつしやう</sup>発達障がいとは、<sup>ちてきしやう</sup>知的障がい<sup>じへい</sup>のあるなし<sup>しやう</sup>にかかわらず、<sup>ちゆういけつじやたどうしやう</sup>自閉スペクトラム症<sup>しやう</sup>、<sup>ちゆういけつじやたどうしやう</sup>注意欠如多動症<sup>しやう</sup> (ADHD)、<sup>がくしゅうしやう</sup>学習症<sup>た</sup>、<sup>こうはんせい</sup>その他の<sup>はったつしやう</sup>広汎性<sup>はったつしやう</sup>発達障がい<sup>はったつしやう</sup>などをいいます。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問10 あなたは、<sup>こうじのうきのうしやう</sup>高次脳機能障がい<sup>しんだん</sup>として診断<sup>しんだん</sup>されたことがありますか。(○は1つ)

※<sup>こうじのうきのうしやう</sup>高次脳機能障がいとは、<sup>いっばん</sup>一般に、<sup>がいしやうせい</sup>外傷性<sup>のうけつかんしやう</sup>脳損傷<sup>とう</sup>、<sup>のう</sup>脳血管障がい<sup>そんしやう</sup>等により<sup>う</sup>脳に<sup>こういしやう</sup>損傷<sup>う</sup>を受け、<sup>こういしやう</sup>その後遺症<sup>とう</sup>等として<sup>しやう</sup>生じた<sup>きおくしやう</sup>記憶障がい<sup>ちゆういしやう</sup>、<sup>しやかいてきこうどうしやう</sup>注意障がい<sup>にんちしやう</sup>、<sup>とう</sup>社会的<sup>さ</sup>行動障がい<sup>さ</sup>などの<sup>こういしやう</sup>認知障がい<sup>さ</sup>等を指すものとされており、<sup>ぐたいてき</sup>具体的には「<sup>かいわ</sup>会話と<sup>こうどう</sup>行動<sup>あ</sup>が<sup>あ</sup>うまく<sup>あ</sup>かみ<sup>あ</sup>合わない」等の<sup>とう</sup>症状<sup>しやうじやう</sup>があります。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

**あなたの日常生活の状況についておたずねします。**

**問11** あなたは、<sup>げんざい</sup>現在どのように<sup>く</sup>暮らしていますか。(○は1つ)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1. <sup>ひとり</sup> 一人で暮らしている   | 2. <sup>かぞく</sup> 家族と暮らしている |
| 3. グループホームで暮らしている   |                             |
| 4. <sup>ふくししせつ</sup> 福祉施設（ <sup>しょう</sup> 障がい者支援施設、 <sup>しやしえんしせつ</sup> 特別養護老人ホームなど）で暮らしている |                             |
| 5. <sup>びやういん</sup> 病院に <sup>にゅういん</sup> 入院している   | 6. その他（<br>）                |

**問12** <sup>こんご</sup>今後の<sup>す</sup>住まいの<sup>きぼう</sup>希望についておたずねします。あなたは、どのような<sup>く</sup>暮らしをしたいと思<sup>おも</sup>いますか。(○は1つ)

- |  |                            |
|--|----------------------------|
| 1. <sup>ひとり</sup> 一人で暮らしたい   | 2. <sup>かぞく</sup> 家族と暮らしたい |
| 3. グループホームで暮らしたい   |                            |
| 4. <sup>ふくししせつ</sup> 福祉施設（ <sup>しょう</sup> 障がい者支援施設、 <sup>しやしえんしせつ</sup> 特別養護老人ホームなど）で暮らしたい |                            |
| 5. <sup>びやういん</sup> 病院に <sup>にゅういん</sup> 入院したい   | 6. その他（<br>）               |

<sup>とい</sup>問12で「3. グループホームで暮らしたい」～「5. <sup>びやういん</sup>病院に<sup>にゅういん</sup>入院したい」を選<sup>せんたく</sup>択した方<sup>かた</sup>におたずねします。

**問13** その<sup>りゆう</sup>理由<sup>こと</sup>をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. <sup>しょう</sup> 障がいの <sup>ていど</sup> 程度が <sup>おも</sup> 重く、 <sup>ざいたく</sup> 在宅での <sup>せいかつ</sup> 生活は <sup>むずか</sup> 難しいと思 <sup>おも</sup> うから |
| 2. <sup>ざいたく</sup> 在宅よりも <sup>てあつ</sup> 手厚い <sup>せいかつしりょう</sup> 生活支援サービスを <sup>う</sup> 受けることができると思 <sup>おも</sup> うから                        |
| 3. <sup>ざいたく</sup> 在宅よりも <sup>けいざいてき</sup> 経済的な <sup>ふたん</sup> 負担が <sup>すく</sup> 少ないと思 <sup>おも</sup> うから                                    |
| 4. <sup>いっぱん</sup> 一般の <sup>じゅうたく</sup> 住宅で <sup>にゅうきよ</sup> 入居できるところを <sup>み</sup> 見つけるのは <sup>むずか</sup> 難しいと思 <sup>おも</sup> うから           |
| 5. <sup>おほ</sup> 多くの人たちと <sup>ひと</sup> 共同 <sup>きょうどうせいかつ</sup> 生活をしたいから   |
| 6. その他（<br>）  |

<sup>とい</sup>問12で「3. グループホームで暮らしたい」～「5. <sup>びやういん</sup>病院に<sup>にゅういん</sup>入院したい」を選<sup>せんたく</sup>択した方<sup>かた</sup>におたずねします。

**問14** <sup>にゅうしよ</sup>入所・<sup>にゅうきよ</sup>入居に関する<sup>かん</sup>検討の<sup>けんとう</sup>状況<sup>じょうきょう</sup>はいかがですか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| 1. <sup>げんざい</sup> 現在、 <sup>きぼう</sup> 希望の <sup>す</sup> 住まいに <sup>にゅうしよ</sup> 入所・ <sup>にゅうきよ</sup> 入居して暮らしている |
| 2. <sup>にゅうしよ</sup> 入所の <sup>よやく</sup> 予約がしてある   |
| 3. <sup>にゅうしよ</sup> 入所先を探しているが、 <sup>あ</sup> 空きのある <sup>しせつ</sup> 施設が <sup>み</sup> 見つからない                    |
| 4. <sup>にゅうしよ</sup> すぐには入所するつもりはない   |
| 5. その他（<br>）   |

問15 あなたは、日常生活の次の①から⑩のことについてどのような状況にありますか。(①から⑩それぞれに○を1つ)

項目	一人でできる	一部介助が必要	全部介助が必要	一人でできる年齢になっていない
① 食事	1	2	3	4
② トイレ	1	2	3	4
③ 入浴	1	2	3	4
④ 家の中の移動	1	2	3	4
⑤ 外出	1	2	3	4
⑥ 買い物	1	2	3	4
⑦ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3	4
⑧ お金の管理	1	2	3	4
⑨ 契約などの手続き	1	2	3	4
⑩ 薬の管理	1	2	3	4

問15で1つでも「一部介助が必要」・「全部介助が必要」・「一人でできる年齢になっていない」を選択した方におたずねします。

問16 あなたの介助や介護は主に誰が行っていますか。(○は1つ)

1. 親	2. 祖父母
3. きょうだい	4. 配偶者(夫または妻)
5. 子(子どもの配偶者を含む。)	6. ヘルパーや施設の職員
7. ボランティア等	8. その他( )

問16で「1. 親」～「5. 子(子どもの配偶者を含む。)」を選択した方におたずねします。

問17 あなたを主に介助や介護している方の年齢をお答えください。

年齢(令和4年●月1日現在)

満  歳

問18 あなたは、主な介護者が急病などにより、突然介護ができなくなった場合、家族や親族などで他に介護を頼める人がいますか。(○は1つ)

1. 介護を頼める人がいる	2. 頼めるかはわからないが、相談できる人はいる
3. その他( )	4. いない



問19 主な介護者が介護する上での悩みや問題は何かと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 自分の時間が持てない              | 2. 体力的にきつい                 |
| 3. 精神的に疲れる                 | 4. 他に介護者がいない               |
| 5. 家事や他の家族の世話などが十分にできない    |                            |
| 6. 近所づきあいや地域のひととの交流などができない |                            |
| 7. 経済的な負担が大きい              | 8. 身近に相談できる人がいない           |
| 9. 近くに利用できる福祉施設がない         | 10. 近くに医療機関がなく緊急時の対応が心配    |
| 11. 介護の仕方がよくわからない          | 12. 障がい者を理由に医療機関等の受診ができない  |
| 13. 介護をする側と受ける側の意思疎通が難しい   |                            |
| 14. 介護者にとって心の支えがない         | 15. 将来自分が介護できなくなることにに対する不安 |
| 16. その他 ( )                |                            |

問20 あなたが生活費としているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 自身の給与・賃金・工賃       | 2. 自身の営業・不動産収入等   |
| 3. 同居家族の給与・事業収入等     | 4. 預金・貯金等         |
| 5. 障がい年金             | 6. 障がい年金以外の年金     |
| 7. 特別障がい者手当・障がい児福祉手当 | 8. 特別児童扶養手当       |
| 9. 豊田市在宅重度障がい者手当     | 10. 愛知県在宅重度障がい者手当 |
| 11. 心身障がい者扶助料        | 12. 生活保護費         |
| 13. その他 ( )          |                   |

障がい福祉サービス等の利用についておたずねします。

問21 あなたは、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 訪問系サービス (居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護など)            |
| 2. 通所系サービス (生活介護、自立訓練、生活訓練、児童発達支援、放課後等デイサービスなど) |
| 3. 就労系サービス (就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援など)        |
| 4. 入所・入居系サービス (施設入所支援、グループホーム、障がい児入所支援など)       |
| 5. 相談系サービス (計画相談支援、障がい児相談支援など)                  |
| 6. 短期入所 (ショートステイ)                               |
| 7. その他 ( )                                      |
| 8. 利用していない                                      |

問22 各サービスの今後の利用意向についてお答えください。また、「回数を増やしたい」と回答し

た場合は、回数不足の状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

サービス	今後の利用意向を教えてください	回数不足の状況
1. 訪問系サービス	1. 新たに利用したい 2. 回数を増やしたい → 3. その他 ( ) 4. 特にない	1. 支給決定量が少ない 2. 提供の曜日や時間帯が合わない 3. 障がいに対応できる事業所がない 4. 事業所が近くにない
2. 通所系サービス	1. 新たに利用したい 2. 回数を増やしたい → 3. その他 ( ) 4. 特にない	1. 支給決定量が少ない 2. 提供の曜日や時間帯が合わない 3. 障がいに対応できる事業所がない 4. 事業所が近くにない
3. 就労系サービス	1. 新たに利用したい 2. 回数を増やしたい → 3. その他 ( ) 4. 特にない	1. 支給決定量が少ない 2. 提供の曜日や時間帯が合わない 3. 障がいに対応できる事業所がない 4. 事業所が近くにない
4. 入所・入居系サービス	1. 新たに利用したい 2. その他 ( ) 3. 特にない	
5. 相談系サービス	1. 新たに利用したい 2. 回数を増やしたい → 3. その他 ( ) 4. 特にない	1. 支給決定量が少ない 2. 提供の曜日や時間帯が合わない 3. 障がいに対応できる事業所がない 4. 事業所が近くにない
6. 短期入所	1. 新たに利用したい 2. 回数を増やしたい → 3. その他 ( ) 4. 特にない	1. 支給決定量が少ない 2. 提供の曜日や時間帯が合わない 3. 障がいに対応できる事業所がない 4. 事業所が近くにない

問23 あなたは、サービスの利用に関する判断・決定等をご自身でしていますか。(○は1つ)

1. すべて自分でしている	2. 自分ですることが多い
3. 家族や介護者などに相談の上で、自分ですることが多い	
4. ほとんど家族や介護者がしている	5. その他 ( )

問24 あなたは、<sup>しょう</sup>障がい<sup>しえんくぶん</sup>支援区分<sup>にんてい</sup>の認定<sup>う</sup>を受けていますか。(○は1つ)

- |                       |                       |                             |                        |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------------|------------------------|
| 1. 区分1 <sup>くぶん</sup> | 2. 区分2 <sup>くぶん</sup> | 3. 区分3 <sup>くぶん</sup>       | 4. 区分4 <sup>くぶん</sup>  |
| 5. 区分5 <sup>くぶん</sup> | 6. 区分6 <sup>くぶん</sup> | 7. 区分なし (児童) <sup>くぶん</sup> | 8. 受けていない <sup>う</sup> |

問25 あなたは、<sup>かいごほけん</sup>介護保険<sup>ようかいごにんてい</sup>の要介護認定<sup>う</sup>を受けていますか。(○は1つ)

- |                          |                          |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 要支援1 <sup>ようしえん</sup> | 2. 要支援2 <sup>ようしえん</sup> | 3. 要介護1 <sup>ようかいご</sup> | 4. 要介護2 <sup>ようかいご</sup> |
| 5. 要介護3 <sup>ようかいご</sup> | 6. 要介護4 <sup>ようかいご</sup> | 7. 要介護5 <sup>ようかいご</sup> | 8. 受けていない <sup>う</sup>   |

問26 サービスの利用全般<sup>りようぜんぱん</sup>について困<sup>こま</sup>っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. サービスに関する情報 <sup>かん</sup> が少 <sup>しょう</sup> ない、入 <sup>にゅう</sup> 手 <sup>しゅ</sup> しにくい  |
| 2. サービス利用 <sup>りよう</sup> についての相 <sup>そう</sup> 談 <sup>だん</sup> 先 <sup>さき</sup> がない   |
| 3. サービス利用 <sup>りよう</sup> のための申 <sup>しん</sup> 請 <sup>せい</sup> や手 <sup>て</sup> 続 <sup>つづ</sup> きが太 <sup>たい</sup> 変 <sup>へん</sup>  |
| 4. 利用 <sup>りよう</sup> したいが対 <sup>たい</sup> 象 <sup>しょう</sup> 外 <sup>がい</sup> などで申 <sup>しん</sup> 請 <sup>せい</sup> できな <sup>い</sup> いサ <sup>さ</sup> ービ <sup>さ</sup> ス <sup>す</sup> が有 <sup>あ</sup> る  |
| 5. 医 <sup>い</sup> 療 <sup>りょう</sup> 的 <sup>てき</sup> ケ <sup>け</sup> ア <sup>あ</sup> など専 <sup>せん</sup> 門 <sup>もん</sup> 的 <sup>てき</sup> な支 <sup>し</sup> 援 <sup>えん</sup> が必 <sup>ひつ</sup> 要 <sup>よう</sup> で受 <sup>う</sup> け入 <sup>い</sup> れても <sup>も</sup> ら <sup>ら</sup> え <sup>え</sup> な <sup>い</sup>       |
| 6. 送 <sup>そう</sup> 迎 <sup>げい</sup> など家 <sup>か</sup> 族 <sup>ぞく</sup> の負 <sup>ふ</sup> 担 <sup>たん</sup> が大 <sup>おほ</sup> き <sup>い</sup>   |
| 7. 通 <sup>つう</sup> 所 <sup>じょ</sup> 先 <sup>さき</sup> や入 <sup>にゅう</sup> 所 <sup>じょ</sup> 施 <sup>せ</sup> 設 <sup>せつ</sup> 等 <sup>とう</sup> での利 <sup>り</sup> 用 <sup>りよう</sup> 者 <sup>しゃ</sup> 間 <sup>かん</sup> の人間 <sup>にんげん</sup> 関 <sup>かん</sup> 係 <sup>けい</sup> に困 <sup>こま</sup> っている                         |
| 8. ヘル <sup>へ</sup> プ <sup>ぷ</sup> ー <sup>あ</sup> や施 <sup>せ</sup> 設 <sup>せつ</sup> 職 <sup>しよく</sup> 員 <sup>いん</sup> 等 <sup>とう</sup> の障 <sup>しょう</sup> がい <sup>がい</sup> に對 <sup>たい</sup> する理 <sup>り</sup> 解 <sup>かい</sup> など <sup>など</sup> に不 <sup>ふ</sup> 安 <sup>あん</sup> を感 <sup>かん</sup> じ <sup>る</sup> |
| 9. 提 <sup>てい</sup> 供 <sup>きょう</sup> する事 <sup>じ</sup> 業 <sup>ぎょう</sup> 所 <sup>じょ</sup> がな <sup>な</sup> い、近 <sup>ちか</sup> く <sup>く</sup> に <sup>に</sup> な <sup>い</sup>  |
| 10. その他 ( )   |
| 11. 特 <sup>とく</sup> に困 <sup>こま</sup> っていること <sup>こと</sup> はな <sup>な</sup> い   |

問27 障<sup>しょう</sup>がい<sup>がい</sup>者<sup>しゃ</sup>が地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>で安<sup>あん</sup>心<sup>しん</sup>して暮<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>し続<sup>つづ</sup>け<sup>け</sup>ら<sup>ら</sup>れるよ<sup>よ</sup>うに<sup>に</sup>す<sup>す</sup>るた<sup>た</sup>め<sup>め</sup>に<sup>に</sup>は、ど<sup>ど</sup>のよ<sup>よ</sup>うな取<sup>とり</sup>組<sup>ぐみ</sup>を特<sup>とく</sup>に<sup>に</sup>進<sup>すす</sup>め<sup>め</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>くべ<sup>べ</sup>き<sup>き</sup>だと思<sup>おも</sup>い<sup>い</sup>ますか。(特<sup>とく</sup>に<sup>に</sup>そ<sup>そ</sup>う思<sup>おも</sup>うもの3つ<sup>3つ</sup>ま<sup>ま</sup>で<sup>で</sup>に○)

- |   |
|---|
| 1. 24時間 <sup>じかん</sup> 365日 <sup>にち</sup> 対 <sup>たい</sup> 応 <sup>おう</sup> 可 <sup>か</sup> 能 <sup>のう</sup> な緊 <sup>きん</sup> 急 <sup>きゅう</sup> 相 <sup>そう</sup> 談 <sup>だん</sup>  |
| 2. 「親 <sup>おや</sup> なき後 <sup>あと</sup> 」や緊 <sup>きん</sup> 急 <sup>きゅう</sup> 時 <sup>じ</sup> など <sup>など</sup> に備 <sup>そな</sup> え <sup>え</sup> た計 <sup>けい</sup> 画 <sup>かく</sup> 相 <sup>そう</sup> 談 <sup>だん</sup>   |
| 3. ど <sup>ど</sup> ん <sup>ん</sup> な <sup>な</sup> と <sup>と</sup> き <sup>き</sup> で <sup>で</sup> も対 <sup>たい</sup> 応 <sup>おう</sup> ・受 <sup>う</sup> 入 <sup>いれ</sup> 可 <sup>か</sup> 能 <sup>のう</sup> な居 <sup>き</sup> 宅 <sup>たく</sup> 介 <sup>かい</sup> 護 <sup>ご</sup>   |
| 4. 生 <sup>せい</sup> 活 <sup>かつ</sup> 介 <sup>かい</sup> 護 <sup>ご</sup> やグ <sup>ぐ</sup> ル <sup>る</sup> ー <sup>る</sup> プ <sup>ぷ</sup> ホ <sup>ほ</sup> ー <sup>ー</sup> ム <sup>む</sup> な <sup>な</sup> のサ <sup>さ</sup> ー <sup>さ</sup> ビ <sup>び</sup> ス <sup>す</sup> を事 <sup>じ</sup> 前 <sup>ぜん</sup> に体 <sup>たい</sup> 験 <sup>けん</sup> す <sup>す</sup> る機 <sup>き</sup> 会 <sup>かい</sup> |
| 5. 円 <sup>えん</sup> 滑 <sup>かつ</sup> にサ <sup>さ</sup> ー <sup>さ</sup> ビ <sup>び</sup> ス <sup>す</sup> を提 <sup>てい</sup> 供 <sup>きょう</sup> で <sup>で</sup> き <sup>き</sup> る人 <sup>じん</sup> 材 <sup>ざい</sup> の確 <sup>かく</sup> 保 <sup>ほ</sup> ・養 <sup>よう</sup> 成 <sup>せい</sup>   |
| 6. 対 <sup>たい</sup> 応 <sup>おう</sup> ・受 <sup>う</sup> 入 <sup>いれ</sup> 可 <sup>か</sup> 能 <sup>のう</sup> な事 <sup>じ</sup> 業 <sup>ぎょう</sup> 所 <sup>じょ</sup> の情 <sup>じょう</sup> 報 <sup>ほう</sup> の集 <sup>じゅう</sup> 約 <sup>やく</sup> ・提 <sup>てい</sup> 供 <sup>きょう</sup>  |
| 7. その他 ( )  |
| 8. 特 <sup>とく</sup> に必 <sup>ひつ</sup> 要 <sup>よう</sup> な <sup>な</sup> こと <sup>こと</sup> はな <sup>な</sup> い   |

問28 あなたは、障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 本や新聞、テレビなど           | 2. インターネット         |
| 3. 家族や親せき               | 4. 友人・知人・学校の先生     |
| 5. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など) | 6. 行政や相談支援事業所などの窓口 |
| 7. かかりつけ医や病院の職員         | 8. その他( )          |

就労や就学、日中活動についておたずねします。

問29 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

- |   |
|---|
| 1. 収入を得て仕事をしている(就労系サービスを除く。)            |
| 2. 障がい福祉サービス事業所等に通っている(就労継続支援A型・B型も含む。) |
| 3. 自主活動グループ等の集まりに参加している                 |
| 4. 通院や買い物以外は自宅で過ごしている                   |
| 5. 施設や病院等に入所または入院している                   |
| 6. デイケアなどを利用している                        |
| 7. 小中学校・高校・大学・専門学校などに通っている(特別支援学校を除く。)  |
| 8. 障がい児通園施設や特別支援学校に通っている                |
| 9. こども園などに通っている                         |
| 10. その他( )                              |

問30 あなたは、近所の方と顔を合わせたり、あいさつをする機会はどれくらいありますか。(○は1つ)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. よくある   | 2. たまにある  |
| 3. ほとんどない | 4. その他( ) |

問31 あなたは、普段どの程度外出しますか。(○は1つ)

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1. ほとんど毎日  | 2. 週5日程度           |
| 3. 週3~4日程度 | 4. 週1~2日程度         |
| 5. 月1~3日程度 | 6. ほとんどない(月に1日もない) |

問32 あなたの就労（就労系サービスを除く。）の状況についてお答えください。（○は1つ）

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 就労している          | 2. 就労していないが、就労したいと思う |
| 3. 就労は考えていない       | 4. 高齢や病気などのため就労できない  |
| 5. 就学中など就労する年齢ではない |                      |

問32で「1. 就労している」「2. 就労していないが、就労したいと思う」を選択した方におたずねします。

問33 あなたは、どのような働き方を望みますか。（○は1つ）

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 給料が少なくても、無理のない範囲で働きたい    |
| 2. 業務内容は問わないので、無理のない範囲で働きたい |
| 3. やりがいをもって仕事をしたい           |
| 4. 生活に必要な収入を得たい             |
| 5. その他（ ）                   |

問32で「1. 就労している」「2. 就労していないが、就労したいと思う」を選択した方におたずねします。

問34 仕事をする上で、どのような点が必要だと感じますか。（必要だと思うもの3つまでに○）

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 能力に応じた評価、昇進・昇格           |
| 2. 体調に合わせた業務量・時間や休暇取得       |
| 3. コミュニケーションの支援やバリアフリー環境の整備 |
| 4. 能力が発揮できる仕事への配置           |
| 5. やりがいのある仕事内容              |
| 6. 上司や専門職員などによる定期的な相談       |
| 7. 気軽に相談できる相手               |
| 8. その他（ ）                   |
| 9. 特に必要と感ずることはない            |

問32で「2. 就労していないが、就労したいと思う」を選択した方におたずねします。

問35 現在就労していない理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 就労に向けた訓練が必要である  | 2. 仕事の探し方がわからない         |
| 3. 条件の合う仕事が見つからない  | 4. 様々な不安があり応募にいたらない     |
| 5. 応募をしているが、採用されない | 6. 就労移行・継続支援サービスを利用している |
| 7. その他（ ）          |                         |

問32で「5. 就学中など就労する年齢ではない」を選択した方におたずねします。

問36 あなたは、現在通っている学校等を卒業したあとの進路をどのように考えていますか。(○は1つ)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 就労したい                | 2. 就労移行・継続支援サービスを利用したい |
| 3. 2. 以外のサービスを利用して過ごしたい | 4. 通常の学級、学校に進学したい      |
| 5. 特別支援学級、特別支援学校に進学したい  | 6. その他 ( )             |
| 7. 考えていない               |                        |

問32で「5. 就学中など就労する年齢ではない」を選択した方におたずねします。

問37 あなたは、保育所や認定こども園、学校で活動する場合に、どのような形を望みますか。(○は1つ)

- |   |
|---|
| 1. 障がいのあるなしに関係なく、一緒にクラスで活動したい                     |
| 2. 障がいのない子と一緒にクラスで活動しながら、同じような障がいのある子と活動する機会をもちたい |
| 3. 同じような障がいのある子と一緒にクラスで活動しながら、障がいのない子と活動する機会をもちたい |
| 4. 同じような障がいのある子と一緒にクラスで活動したい                      |
| 5. その他 ( )  |

すべて方におたずねします。

問38 あなたは、この1年間、また、この1週間に、次の①～⑥の活動をしましたか。また、今後、どのような活動をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

項目	この1年間 でしたこと	この1週間 でしたこと	今後 したいこと
① 文化芸術の鑑賞			
② 創作、演奏、習い事等			
③ 運動・スポーツ			
④ 自治区など地域の活動			
⑤ ボランティア活動			
⑥ 障がい者団体の活動			
⑦ 観光			
⑧ その他 ( )			



問44 あなたは、診療（<sup>しんりょう</sup> 歯科診療を除く。）のことで<sup>こま</sup>困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 医療費にかかる負担が大きい
2. 通院にかかる時間が大きい
3. 医療機関の設備が整っていないため、診療や検査がしづらい、時間がかかる
4. 医師とのコミュニケーションが取りづらい
5. 病気について相談相手がない
6. 服薬などの管理が難しい
7. 通院や入院時の介助者を確保することが難しい
8. その他（ ）
9. 特に困っていることはない

問45 あなたには、かかりつけ<sup>しかい</sup>歯科医がいますか。（○は1つ）

1. いる
2. いない

問46 あなたは、<sup>しかしんりょう</sup> 歯科診療のことで<sup>こま</sup>困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 医療費にかかる負担が大きい
2. 通院にかかる時間が大きい
3. 医療機関の設備が整っていないため、診療や検査がしづらい、時間がかかる
4. 医師とのコミュニケーションが取りづらい
5. 治療について相談相手がない
6. 服薬などの管理が難しい
7. 通院時の介助者を確保することが難しい
8. その他（ ）
9. 特に困っていることはない

問47 あなたは、<sup>げんざい</sup> 現在、<sup>いりょうてき</sup> 医療的ケア（<sup>きかんせつかい</sup> 気管切開、<sup>じんこうこきゅうき</sup> 人工呼吸器、<sup>きゅうにゅう</sup> 吸入・吸引、<sup>きゅういん</sup> 経管栄養、<sup>けいかんえいよう</sup> 経管栄養、<sup>じんこうとうせき</sup> 人工透析、<sup>ふくやくかんり</sup> 服薬管理、<sup>ざいたくさんそりょうほう</sup> 在宅酸素療法など）を受けていますか。（○は1つ）

1. 受けている
2. 受けていない



**相談や情報収集についておたずねします。**

**問48** あなたは、<sup>ふだん</sup> 普段、<sup>なや</sup> 悩みや<sup>こま</sup> 困ったことを<sup>だれ</sup> 誰に<sup>そうだん</sup> 相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |  |
|--|--|
| 1. <sup>かぞく</sup> 家族や <sup>しん</sup> 親せき  | 2. <sup>ゆうじん</sup> 友人・ <sup>ちじん</sup> 知人                             |
| 3. <sup>しよくば</sup> 職場の <sup>じょうし</sup> 上司や <sup>どうりよう</sup> 同僚                         | 4. <sup>しせつ</sup> ヘルパーや <sup>しよくいん</sup> 施設の職員                       |
| 5. <sup>しょう</sup> 障がい者 <sup>しやだんたい</sup> 団体や <sup>かぞくかい</sup> 家族会                      | 6. <sup>いし</sup> かかりつけの <sup>かんごし</sup> 医師や <sup>しんご</sup> 看護師       |
| 7. <sup>つうえんしせつ</sup> 通園施設や <sup>えん</sup> こども園、 <sup>がっこう</sup> 学校の <sup>せんせい</sup> 先生 | 8. <sup>ぎょうせい</sup> 行政や <sup>みんかん</sup> 民間の <sup>そうだんまどぐち</sup> 相談窓口 |
| 9. その他 ( )   | 10. <sup>そうだん</sup> 相談できる <sup>ひと</sup> 人がいない                        |
| 11. <sup>そうだん</sup> 相談することがない  |  |

**問49** あなたは、どのような<sup>なや</sup> 悩みを<sup>そうだん</sup> 相談することが<sup>おほ</sup> 多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |  |
|---|--|
| 1. <sup>けんこう</sup> 健康や <sup>しょう</sup> 障がいの <sup>じょうたい</sup> 状態に <sup>かん</sup> 関すること | 2. <sup>りよう</sup> サービスの <sup>せいど</sup> 利用や <sup>かん</sup> 制度に <sup>かん</sup> 関すること |
| 3. <sup>しごと</sup> 仕事・ <sup>しよくば</sup> 職場に <sup>かん</sup> 関すること                       | 4. <sup>にちじょうせい</sup> 日常生活上の <sup>こま</sup> 困りごと                                  |
| 5. <sup>しゆみ</sup> 趣味に <sup>かん</sup> 関すること   | 6. <sup>しょうらい</sup> 将来の <sup>せい</sup> 生活に <sup>かん</sup> 関すること                    |
| 7. その他 ( )  | 8. <sup>そうだん</sup> 相談することはほとんどない   |

**問50** あなたは、<sup>しょう</sup> 障がいが<sup>げんいん</sup> 原因で、<sup>かぞく</sup> 家族や<sup>かいごしやいがい</sup> 介護者<sup>ひと</sup> 以外の<sup>いし</sup> 人との<sup>いしそつう</sup> 意思疎通に<sup>こま</sup> 困ることはありますか。

(○は1つ)

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 1. よくある  | 2. <sup>ときどき</sup> 時々ある |
| 3. あまりない | 4. <sup>まった</sup> 全くない  |

**問50**で「1. よくある」「2. <sup>ときどき</sup> 時々ある」を<sup>せんたく</sup> 選択した<sup>かた</sup> 方におたずねします。

**問51** それはどのような<sup>ばめん</sup> 場面ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |  |
|--|--|
| 1. <sup>しよくば</sup> 職場  | 2. <sup>がっこう</sup> 学校  |
| 3. <sup>いりようきかん</sup> 医療機関                                       | 4. <sup>やくしよ</sup> 役所の <sup>まどぐち</sup> 窓口                                      |
| 5. <sup>りようきん</sup> 料金の <sup>しはら</sup> 支払いや <sup>けいやく</sup> 契約など | 6. <sup>ぎんこう</sup> 銀行・ <sup>ゆうびんきょく</sup> 郵便局など                                |
| 7. <sup>こうきょうこうつうきかん</sup> 公共交通機関                                | 8. <sup>きんじよ</sup> 近所の <sup>ひと</sup> 人や <sup>ちいき</sup> 地域の <sup>あつ</sup> 集まりなど |
| 9. その他 ( )   |  |

問52 あなたは、日常的にどのような手段により情報を取得していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 活字、文字           | 2. 点字、拡大文字              |
| 3. 朗読、音訳           | 4. 会話、音声                |
| 5. 筆談              | 6. 要約筆記                 |
| 7. 手話(触手話含む。)通訳    | 8. 補聴器、人工内耳等            |
| 9. 電子データ           | 10. 電子データの読み上げ(ソフト、CD等) |
| 11. コミュニケーション支援ボード | 12. コミュニケーション支援アプリ      |
| 13. その他( )         | 14. 特にない                |

問53 あなたは、日常的にどのような情報機器を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. パソコン       | 2. スマートフォン・タブレット |
| 3. 携帯電話       | 4. 固定電話          |
| 5. FAX        | 6. その他( )        |
| 7. どれも利用していない |                  |

問54 あなたは、インターネットを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 電子メールの送受信をしている                  |
| 2. ホームページ・ブログの開設・更新または閲覧・書き込みをしている |
| 3. SNSを利用している                      |
| 4. 動画投稿・共有サイトを利用をしている              |
| 5. 商品・サービスの購入・取引をしている              |
| 6. 収入を得る仕事をしている                    |
| 7. 日常生活での調べごとや情報収集をしている            |
| 8. その他( )                          |
| 9. インターネットを利用していない                 |

権利擁護についておたずねします。

問55 障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う地域社会のことを「地域共生社会」といいます。あなたは、この「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような地域社会のあり方についてどのように考えますか。(○は1つ)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあります、賛同できる | 2. 聞いたことはあるが、賛同できない |
| 3. 聞いたことはないが、賛同できる  | 4. 聞いたことはなく、賛同もできない |
| 5. わからない            |                     |

問56 このような「地域共生社会」の実現をめざし、平成28年4月に障がい者差別解消法が施行されました。あなたは、そのころ(5年程前)と比べて障がい者に対する差別や偏見は改善していると思いますか。(○は1つ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. かなり改善している  | 2. 少しずつ改善している |
| 3. あまり改善していない | 4. 改善していない    |
| 5. どちらともいえない  |               |

問57 あなたは、令和3年4月に施行した「豊田市地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進及び意思疎通の円滑化に関する条例」について知っていますか。(○は1つ)

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称は知っているが、内容は知らない |
| 3. 名称も内容も知らない  |                      |

問58 あなたは、家族や介護者以外の人に障がいについて理解されてよかったと感じることはありますか。(○は1つ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. よくある  | 2. 時々ある |
| 3. あまりない | 4. 全くない |

問58で「1. よくある」「2. 時々ある」を選択した方におたずねします。

問59 差し支えなければ、どのような状況であったか、ご記入ください。


問60 あなたは、<sup>かぞく</sup>家族や<sup>かいごしゃいがい</sup>介護者以外の<sup>ひと</sup>人から<sup>てだす</sup>手助けや<sup>はいりよ</sup>配慮を<sup>たす</sup>されて<sup>けいけん</sup>助かった経験はありますか。(○は1つ)

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 1. よくある  | 2. <sup>ときどき</sup> 時々ある |
| 3. あまりない | 4. <sup>まった</sup> 全くない  |

問60で「1. よくある」「2. <sup>ときどき</sup>時々ある」を<sup>せんたく</sup>選択した<sup>かた</sup>方におたずねします。

問61 <sup>さ</sup>差し支えなければ、<sup>つか</sup>どのような<sup>じょうきょう</sup>状況であったか、<sup>きにゅう</sup>ご記入ください。

---

---

問62 あなたは、<sup>しょう</sup>障がい者への<sup>りかい</sup>理解や<sup>はいりよ</sup>配慮をより<sup>ふか</sup>深めていくためには、<sup>ひつよう</sup>どのようなことが必要だと<sup>おも</sup>思いますか。(特に必要だと思うもの3つまでに○)

- |  |
|--|
| 1. <sup>がっこうきょういく</sup> 学校教育での <sup>しょう</sup> 障がい <sup>りかい</sup> 理解のための <sup>きょういく</sup> 教育の <sup>すいしん</sup> 推進                    |
| 2. <sup>しょう</sup> 障がいの <sup>うむ</sup> 有無にかかわらず <sup>とも</sup> 共に <sup>まな</sup> 学ぶ <sup>きょういく</sup> 教育(インクルーシブ教育)の <sup>すいしん</sup> 推進 |
| 3. <sup>かつどう</sup> ボランティア活動の <sup>すいしん</sup> 推進  |
| 4. <sup>きんじょ</sup> 近所や <sup>じちかい</sup> 自治会で <sup>しょう</sup> 障がいのない <sup>かた</sup> 方との <sup>こうりゅう</sup> 交流を <sup>ふか</sup> 深める         |
| 5. <sup>しょう</sup> 障がい者の <sup>しや</sup> 一般 <sup>いっばんきぎょう</sup> 企業への <sup>しゅうぎょう</sup> 就業の <sup>そくしん</sup> 促進                         |
| 6. <sup>しょう</sup> 障がいのない <sup>かた</sup> 方と共に <sup>とも</sup> 参加できる <sup>ぶんかげいじゆつかつどう</sup> スポーツ・文化芸術活動の <sup>すいしん</sup> 推進            |
| 7. <sup>ふくし</sup> 福祉に関する <sup>かん</sup> 広報や <sup>こうほう</sup> パンフレットの <sup>さくせい</sup> 作成  |
| 8. イベントなど <sup>しょう</sup> 障がい者の <sup>しや</sup> 話を <sup>はなし</sup> 聞いたり、 <sup>き</sup> ふれあう <sup>きかい</sup> 機会の <sup>ていきょう</sup> 提供      |
| 9. <sup>しょう</sup> 障がい者 <sup>しやだんたい</sup> 団体を知 <sup>し</sup> ってもらうための <sup>かつどう</sup> 活動   |
| 10. <sup>しょう</sup> 障がい者からの <sup>しや</sup> 市民に対する <sup>しみん</sup> 積極的 <sup>たい</sup> な <sup>せっきょくてき</sup> 情報 <sup>じょうほう</sup> 発信       |
| 11. その他 ( )  |
| 12. わからない  |
| 13. <sup>とく</sup> 特に必要だと思 <sup>ひつよう</sup> うこと <sup>おも</sup> はない  |

問63 あなたは、<sup>せいねんこうけんせいど</sup>成年後見制度について<sup>し</sup>知っていますか。(○は1つ)

- |   |
|---|
| 1. <sup>せいど</sup> すでに <sup>りよう</sup> 制度を利用している                        |
| 2. <sup>せいど</sup> 制度の <sup>ないよう</sup> 内容を知っている                        |
| 3. <sup>なまえ</sup> 名前は <sup>き</sup> 聞いたことがあるが <sup>ないよう</sup> 内容はわからない |
| 4. <sup>き</sup> 聞いたことがない  |

※成年後見制度とは、<sup>せいねんこうけんせいど</sup>認知症や<sup>にんちしょう</sup>知的・<sup>ちてき</sup>精神障がいにより<sup>せいしんしょう</sup>判断能力が<sup>はんだんのりよく</sup>不十分となった<sup>ふじゅうぶん</sup>方に対し、<sup>かた</sup>家庭裁判所<sup>たい</sup>から<sup>かていさいばんしょ</sup>選任された<sup>せんにん</sup>後見人等が<sup>こうけんにんどう</sup>本人の<sup>ほんにん</sup>意思決定<sup>いしけつていしえん</sup>支援や<sup>きんせんかんり</sup>金銭管理を<sup>おこな</sup>行う<sup>せいど</sup>制度です。

暮らしやすさや今後のまちづくりについておたずねします。

問64 障がい者にとって、豊田市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. とても暮らしやすいまちだと思います  | 2. どちらかといえば暮らしやすいまちだと思います |
| 3. あまり暮らしやすいまちだとは思わない | 4. 暮らしやすいまちだとは思わない        |

問65 その理由を教えてください。(自由にご記入ください。)


問66 将来に向けて不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか |
| 2. 必要な福祉サービスを受けられるか              |
| 3. 福祉サービスを受けるのにどの程度の費用がかかるのか     |
| 4. 住む(生活する)ところを確保できるか            |
| 5. 経済的に安定した生活を送ることができるか          |
| 6. 就業・就学先を確保できるか                 |
| 7. 恋愛や結婚、性に関しての不安                |
| 8. いざというときの相談相手を持つことができるか        |
| 9. 健康を維持できるか(二次的障がいのおそれ)         |
| 10. 障がいが進行するのではないか               |
| 11. 生きがいを見つけることができるか             |
| 12. その他( )                       |
| 13. 特に不安はない                      |



## ～ 障がい福祉に関するアンケート調査へのご協力のお願い ～

日頃から豊田市の障がい福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

豊田市では現在、令和3年3月に策定した「第5次障がい者ライフサポートプラン」に基づき障がい者施策の推進に取り組んでいます。この度、障がい福祉に関する意識などをお伺いし、より一層の計画・施策の推進に役立てるため、この調査を実施することとしました。

この調査の対象者は、18歳以上の方から無作為抽出で選ばせていただきました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の内容が明らかにされたりすることはありません。また、回答いただいた内容は、統計的にまとめ、障がい者施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使用する一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

## ＜ 記入にあたってのお願い ＞

1. この調査は、宛名の本人が回答ください。
2. 記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて  
**●月●日（●）**までにご返送ください。

※この調査への質問などは、下記までお問い合わせください。

## 【問い合わせ先】

豊田市役所 福祉部 障がい福祉課 計画担当

電 話：0565-34-6751

ファックス：0565-33-2940

メー ル：shougai\_hu@city.toyota.aichi.jp

**あなたのお住まいや家族構成などについておたずねします。**

**問1** あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 |
| 3. 40～49 歳 | 4. 50～59 歳 |
| 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上  |

**問2** お住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

※地区がわからない場合は町名でお答えください。

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 拳母地区 | 2. 高橋地区  |
| 3. 上郷地区 | 4. 高岡地区  |
| 5. 猿投地区 | 6. 松平地区  |
| 7. 藤岡地区 | 8. 小原地区  |
| 9. 足助地区 | 10. 下山地区 |
| 11. 旭地区 | 12. 稻武地区 |

地区がわからない場合 ⇒ ( ) 町

**問3** あなたの世帯の家族構成をお答えください。(○は1つ)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. ひとり暮らし    | 2. 夫婦のみ          |
| 3. 核家族 (親と子) | 4. 3世代同居 (親と子と孫) |
| 5. その他 ( )   |                  |

**問4** あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 会社や団体に勤めている (正社員)               |
| 2. 会社や団体に勤めている (パート・アルバイト等)        |
| 3. 会社や団体の役員、経営者                    |
| 4. 自営業、個人事業主およびその家族従業員 (農林水産業を含む。) |
| 5. 学生                              |
| 6. 家事専業                            |
| 7. 無職 (学生、家事専業を除く。)                |
| 8. その他 ( )                         |



## 障がいのある方との関わりについておたずねします。

**問5** あなたの身近に障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 自分自身が障がいがある      | 2. 家族や親せきに障がいのある方がいる  |
| 3. 友人や知人に障がいのある方がいる | 4. 職場や学校などに障がいのある方がいる |
| 5. 近所に障がいのある方が住んでいる | 6. 障がいのある方と一緒に働いている   |
| 7. その他 ( )          | 8. 身近に障がいのある方がいない     |

**問6** あなたは、これまでに生活の中で障がいのある方と関わりを持ったことがありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

※ご自身に障がいがある場合は、他の障がいのある方との関わりについてお答えください。

- |  |
|--|
| 1. 身近に障がいのある方がおり、日ごろから接している              |
| 2. ボランティアなどで障がいのある方と関わっている               |
| 3. 職場や学校などで障がいのある方と関わっている                |
| 4. 学校の体験学習等で、障がいのある方の話を聞いたりする            |
| 5. 地域で障がいのある方と関わっている                     |
| 6. まちなかで困っている障がいのある方を手助けするなど関わりを持ったことがある |
| 7. その他 ( )                               |
| 8. 関わりを持ったことがない                          |

→問6で「8. 関わりを持ったことがない」を選択された方におたずねします。

**問7** 関わりを持った経験がない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 親しい人の中に障がいのある方がいないから                |
| 2. 身近に障がいのある方がおらず、関わる機会がないから           |
| 3. 困っている方を見かけても、手助けするのはおせっかいのような気がするから |
| 4. どのように関わったらよいかわからないから                |
| 5. 専門の人や関係者に任せた方がよいと思うから               |
| 6. 関心がないから                             |
| 7. その他 ( )                             |

**問8** あなたは、今後、生活の中で障がいのある方と関わりを持とうと思いませんか。(○は1つ)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 積極的に関わりを持とうと思う                     |
| 2. 機会があれば関わりを持とうと思う                   |
| 3. 障がいについての理解や配慮など、どのように関わったらよいかわからない |
| 4. できれば関わりを持ちたくない                     |
| 5. 関わりを持ちたくない                         |

**問9** あなたは、お住まいの地域で障がいのある方が困っていたら、その人にどのようなことができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 日常的な声かけ        | 2. 話し相手、情報の提供   |
| 3. 外出時のちょっとした手伝い  | 4. ちょっとした家事の手伝い |
| 5. 災害や急病などの緊急時の支援 | 6. その他 ( )      |
| 7. 何もできない         |                 |

**問10** あなたは、災害が起きた際、地域に住んでいる障がいのある方への支援(安否の声かけ、災害情報を伝える、避難誘導など)をすることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 支援をするべきだと思う                 |
| 2. できるだけ支援をしたいと思う              |
| 3. 支援をしたくても、どのように支援したらよいかわからない |
| 4. 支援することは自分には難しいと思う           |
| 5. 障がいのある方に限らず他人を支援することは難しいと思う |
| 6. その他 ( )                     |

就労している方(問4で1~4とお答えの方)におたずねします。

**問11** あなたの勤め先で、障がいのある方は働いていますか。(○は1つ)

※職場・事業所単位ではなく、お勤め先の会社や団体全体を対象にお答えください。

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 障がいのある方が雇用されており、職場が同じなどでよく知っている |
| 2. 障がいのある方が雇用されているが、普段は顔を合わせない     |
| 3. 障がいのある方は雇用されていない                |
| 4. わからない、よく知らない                    |

問11で「1. 障がいのある方が雇用されており、職場が同じなどでよく知っている」を選択された方におたずねします。

**問12** あなたの勤め先では、障がいのある方が働きやすいように、どのような工夫がされていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 短時間勤務など勤務時間の配慮がされている        |
| 2. 職務の内容や業務量への配慮がされている         |
| 3. 仕事がしやすいように設備を整えている          |
| 4. 障がいのある方の就労を支援する社内人材を育成している  |
| 5. 障がいのある方の就労を支援する機関や団体と連携している |
| 6. 障がいのある方が働きやすい部署や子会社を設けている   |
| 7. 従業員に対して障がいに関する理解啓発を実施している   |
| 8. その他 ( )                     |
| 9. 特に配慮されていない                  |
| 10. どのような対応をしているかよくわからない       |

**問 1 3** あなたは、この3年間に、障がいのある方が作った商品（食品を含む。）を買ったことがありますか。（○は1つ）

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 買ったことがある | 2. 買ったことがない |
|-------------|-------------|

→問 1 3で「1. 買ったことがある」を選択された方におたずねします。

**問 1 4** あなたは、その商品をどこで購入しましたか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 市役所や福祉センターなど公共施設                 |
| 2. 障がいのある方が働く福祉施設                   |
| 3. スーパーなどのお店・飲食店                    |
| 4. アンテナショップきらり（公共施設等に設置してあるお菓子 BOX） |
| 5. イベント・おまつりなど                      |
| 6. 通販                               |
| 7. その他（ ）                           |

## 障がいや福祉に関することなどについておたずねします。

**問 1 5** あなたは、日頃、「障がい」や「障がい者福祉の制度」などに関する情報をどこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事   | 2. テレビ、ラジオのニュースや番組  |
| 3. インターネット      | 4. 行政などの広報紙やパンフレット等 |
| 5. 各種講演会、イベント等  | 6. 民生委員・児童委員        |
| 7. 市役所など行政機関の窓口 | 8. 医療機関、福祉施設、学校     |
| 9. 障がい者団体の広報    | 10. 身近にいる人から        |
| 11. 障がいのある方から   | 12. その他（ ）          |
| 13. 特にない        |                     |

**問 1 6** あなたは、障がいのある方のことや障がい者福祉について関心をお持ちですか。（○は1つ）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある  | 2. ある程度関心がある |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり関心がない  |
| 5. 関心がない     |              |

**問 1 7** 障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う地域社会のことを「地域共生社会」といいます。あなたは、この「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような地域社会のあり方についてどのように考えますか。(○は1つ)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、賛同できる  | 2. 聞いたことはあるが、賛同できない |
| 3. 聞いたことはないが、賛同できる | 4. 聞いたことはなく、賛同もできない |
| 5. わからない           |                     |

**問 1 8** このような「地域共生社会」の実現をめざし、平成28年4月に障がい者差別解消法が施行されました。あなたは、障がい者差別解消法について知っていますか。(○は1つ)

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称は知っているが、内容は知らない |
| 3. 名称も内容も知らない  |                      |

障がい者差別解消法（正式名称：障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律）は、障がいを理由とする差別の解消を推進し、「共生社会」を実現することを目的として制定されました。（平成28年4月からスタート）

障がい者差別解消法では、「**不当な差別的取扱い**」と「**合理的配慮をしないこと**」が差別になります。

●「**不当な差別的取扱い**」とは

例えば、「障がいがある」という理由だけで、スポーツクラブに入れないこと、アパートを貸さないこと、車椅子を利用しているからといってお店に入れないことなどは、障がいのない人と違う扱いを受けているので、「**不当な差別的取扱い**」であると考えられます。ただし、他に方法がない場合などは、「不当な差別的取扱い」にならないこともあります。

●「**合理的配慮をしないこと**」とは

聴覚障がいのある人に声だけで話す、視覚障がいのある人に書類を渡すだけで読みあげない、知的障がいのある人にわかりやすく説明しないことは、障がいのない人にはきちんと情報を伝えているのに、障がいのある人には情報を伝えないことになります。

障がいのある人が困っている時にその人の障がいに合った必要な工夫ややり方を相手に伝えて、それを相手にしてもらうことを**合理的配慮**といいます。障がい者差別解消法では、役所や会社・お店などが、障がいのある人に「合理的配慮をしない」ことも差別となります。

出典：内閣府 障がい者差別解消法リーフレット（わかりやすい版）

**問 1 9** あなたは、障がい者差別解消法が施行されたころ（5年程前）と比べて障がいのある方に対する差別や偏見は改善していると思いますか。(○は1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. かなり改善していると思う  | 2. 少しずつ改善していると思う |
| 3. あまり改善していないと思う | 4. 改善していないと思う    |
| 5. どちらともいえない     |                  |

**問 2 0** また、あなたは、令和3年4月に施行した「豊田市地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進及び意思疎通の円滑化に関する条例」についても知っていますか。(○は1つ)

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称は知っているが、内容は知らない |
| 3. 名称も内容も知らない  |                      |

**問 2 1** 障がいのある方に対する理解や配慮をより深めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(特に必要だと思うもの3つまで○)

1. 学校教育での障がい理解のための教育の推進
2. 障がいの有無にかかわらず共に学ぶ教育（インクルーシブ教育）の推進
3. ボランティア活動の推進
4. 近所や自治会で障がいのある方との交流を深める
5. 障がいのある方の一般企業への就業の促進
6. 障がいのある方と共に参加できるスポーツ・文化芸術活動の推進
7. 福祉に関する広報やパンフレットの作成
8. イベントなど障がいのある方の話を聞いたり、ふれあう機会の提供
9. 障がい者団体を知ってもらうための活動
10. 障がいのある方からの市民に対する積極的な情報発信
11. その他（ )
12. わからない
13. 特に必要だと思うことはない

**暮らしやすさや今後のまちづくりについておたずねします。**

**問 2 2** 障がいのある方にとって、豊田市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. とても暮らしやすいまちだと思う
2. どちらかといえば暮らしやすいまちだと思う
3. あまり暮らしやすいまちだとは思わない
4. 暮らしやすいまちだとは思わない

**問 2 3** あなたにとって、豊田市は暮らしやすいまちですか。(○は1つ)

1. とても暮らしやすいまちだと思う
2. どちらかといえば暮らしやすいまちだと思う
3. あまり暮らしやすいまちだとは思わない
4. 暮らしやすいまちだとは思わない

**問 2 4** 問 2 1 と問 2 2 の回答について補足することがあれば自由にご記入ください。




## ～ 障がい福祉に関するアンケート調査へのご協力のお願い ～

日頃から豊田市の障がい福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

豊田市では現在、令和3年3月に策定した「第5次障がい者ライフサポートプラン」に基づき 障がい者施策の推進に取り組んでいます。この度、各法人の今後の障がい福祉サービス・地域生活支援事業・障がい児支援に関する意向などをお伺いし、より一層の計画・施策の推進に役立てるため、この調査を実施することとしました。

なお、ご回答の内容は、統計的にまとめ、障がい者施策の推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使用することは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

※記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて●月●日(●)までにご返送ください。

※このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

## 【問い合わせ先】

豊田市役所 福祉部 障がい福祉課 計画担当

電 話：0565-34-6751

ファックス：0565-33-2940

メー ル：shougai\_hu@city.toyota.aichi.jp

◎貴法人について・・・貴法人名・連絡先等をご記入ください。

法人名		
記入者(所属・氏名)		
連絡先	電 話	
	F A X	
	電子メール	

問1 次のサービスについて、貴法人による豊田市内での①提供状況、②今後の意向、③不足感について、それぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◎障がい福祉サービス

サービス名		①提供しているサービス (●月の状況)	②拡大・新たに実施したいサービス	③不足していると感じるサービス
	(記入例) 8.生活介護	①	②	3
介護給付	1. 居宅介護	1	2	3
	2. 重度訪問介護	1	2	3
	3. 行動援護	1	2	3
	4. 同行援護	1	2	3
	5. 重度障がい者等包括支援	1	2	3
	6. 短期入所 (ショートステイ)	1	2	3
	7. 療養介護	1	2	3
	8. 生活介護	1	2	3
	9. 施設入所支援	1	2	3
訓練等給付	10. 自立訓練 (生活訓練)	1	2	3
	11. 自立訓練 (機能訓練)	1	2	3
	12. 宿泊型自立訓練	1	2	3
	13. 就労移行支援	1	2	3
	14. 就労継続支援 A 型	1	2	3
	15. 就労継続支援 B 型	1	2	3
	16. 就労定着支援	1	2	3
	17. 自立生活援助	1	2	3
相談支援	18. 共同生活援助	1	2	3
	19. 障がい児相談支援	1	2	3
	20. 計画相談支援	1	2	3
	21. 地域移行支援	1	2	3
	22. 地域定着支援	1	2	3



◎障がい児支援・地域生活支援事業

サービス名		①提供しているサービス (●月の状況)	②拡大・新たに実施したいサービス	③不足していると感じるサービス
障がい児通所支援	23. 児童発達支援	1	2	3
	24. 医療型児童発達支援	1	2	3
	25. 放課後等デイサービス	1	2	3
	26. 居宅訪問型児童発達支援	1	2	3
	27. 保育所等訪問支援	1	2	3
障がい児入所支援	28. 福祉型障がい児入所支援	1	2	3
	29. 医療型障がい児入所支援	1	2	3
地域生活支援事業	30. 移動支援	1	2	3
	31. 移動入浴	1	2	3
	32. 日中短期入所	1	2	3
	33. 地域生活支援デイサービス	1	2	3
	34. ケアスタッフ	1	2	3
	35. デイ型地域活動支援	1	2	3
	36. 地域活動支援センター	1	2	3

問2 貴法人では、今年4月から現在まで、利用者からの依頼に対し、受け入れ（サービス提供）できなかったことはありますか。（○は1つ）

<p>1. ある</p> <p>2. ない</p> <p>3. 受け入れはできたが、希望の日数・時間よりも少ない利用にしまった</p>
---

問2で「1. ある」を選択した法人におたずねします。

**問3** 受け入れ（提供）できなかったサービスは何ですか。下記から該当するサービス番号とその理由（①～⑤）を選び、回答欄にご記入ください。

訪問系サービス	1. 居宅介護	2. 重度訪問介護	3. 行動援護	4. 同行援護
	5. 保育所等訪問支援	6. 移動支援	7. 移動入浴	8. ケアスタッフ
通所系サービス	9. 生活介護	10. 自立訓練	11. 児童発達支援	12. 放課後等デイサービス
	13. 地域生活支援 デイサービス	14. デイ型地域活動支援	15. 地域活動支援センター	
就労系サービス	16. 就労移行支援	17. 就労継続支援 A型	18. 就労継続支援 B型	19. 就労定着支援
入所・居住系サービス	20. 施設入所支援	21. 共同生活援助 (グループホーム)	22. 福祉型障がい 児入所支援	
相談系サービス	23. 障がい児相談 支援	24. 計画相談支援	25. 地域移行支援	26. 地域定着支援
その他	27. 短期入所 (ショートステイ)	28. 日中短期入所	29. その他	

**【受け入れ（提供）できなかった理由】**

- ①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた
- ②希望される時間帯に、事業者としてサービス提供していなかった（夜間、休祝日など）
- ③事業所では対応できない困難ケースだった（障がい種別、障がい程度などによる）
- ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）
- ⑤その他→（回答欄にその他の理由をご記入ください）

サービス番号を1つ選択	受け入れできなかった理由をそれぞれ選択	⑤を選んだ方は理由をご記入ください
(記入例) 1	(記入例) ①, ④	

**問4** 一部のサービスでは、あまり事業所の増加が進んでいないのが現状です。事業所定員の増員や新規参入が進まない理由は何ですか。(○は2つまで)

- 1. 現状の規模を保つことができればよく、事業を拡大する意向はない
- 2. 現状で利用者が確保できていないので、定員増や新規参入は難しい
- 3. 事業の提供場所（土地や建物）の確保が困難である
- 4. 職員の確保が困難である
- 5. 報酬単価が低く、採算性に不安がある
- 6. 報酬設定や許認可等の制約が大きい（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 7. その他（ \_\_\_\_\_）

**問5** 人材確保にどのような課題がありますか。(○は2つまで)

- 1. 新規学卒者の確保が難しい
- 2. 一定の技術を持つ人材の確保が難しい
- 3. 夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある
- 4. 特定の職種の確保が難しい（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 5. 転職や退職が多く人材の定着が難しい
- 6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**問6** 離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。(○は3つまで)

- 1. 出産・育児
- 2. 身体的負担
- 3. 勤務形態（夜勤・土日勤務・休日の少なさ）
- 4. 家族等の介護・看護
- 5. 職場の人間関係
- 6. 収入面
- 7. キャリアアップ
- 8. 忙しすぎる
- 9. 運営理念やケア方針の違い
- 10. その他（ \_\_\_\_\_）
- 11. 把握していない

**問7** 貴法人では、人材確保のため、どのような取組をしていますか。また、最も効果があったと感じる取組は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. ハローワークへの求人掲載
- 2. 学校・養成機関への求人
- 3. 求人募集誌・求人情報サイトへの掲載
- 4. 新聞へ折り込みチラシ
- 5. 法人・事業所のホームページへの求人掲載
- 6. 職員の親族・知人の紹介依頼
- 7. インターンシップ・実習等の受入
- 8. 一般の就職・転職フェアなどへの参加
- 9. 福祉業界に特化した就職・転職フェアなどへの参加
- 10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

左で回答したうち、最も効果があったと感じる取組の番号を記入してください。

**問8** 人材定着・離職防止のため、どのような取組をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 個人の希望に配慮したシフト設定   | 2. スキルアップのための教育・研修の充実 |
| 3. スキルや年数に応じた昇給の仕組み  | 4. 子育てや介護との両立支援       |
| 5. 仕事のやりがいづくり        | 6. 有給休暇を取得しやすい環境づくり   |
| 7. 業務内容の見直し・労働時間の削減  | 8. 介護ロボット・ICTなどの活用    |
| 9. 悩みを相談しやすい職場づくり    |                       |
| 10. その他（具体的に： _____） |                       |

**問9** 今後の事業運営にあたり、行政等の関係機関からの支援で最も必要なものは何ですか。(○は1つ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 職員の研修、職業訓練への支援            |
| 2. 行政との情報共有                  |
| 3. 事業運営に必要な情報提供              |
| 4. 障がい者福祉に対する市民理解を得るための周知、啓発 |
| 5. その他（具体的に： _____）          |
| 6. 特に必要なことはない                |

**問10** 豊田市では、障がい者が、何らかの急な理由によって家族（親など）と一緒に過ごすことができなくなり、緊急な支援が必要となった場合に備える「地域生活支援拠点整備事業」に取り組んでいます。どのような取組を特に進めていくべきだと思いますか。(○は3つまで)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 24時間365日対応可能な緊急相談             |
| 2. 「親なき後」や緊急時などに備えた計画相談          |
| 3. 緊急時に対応・受入可能な居宅介護              |
| 4. 生活介護やグループホームなどのサービスを事前に体験する機会 |
| 5. 円滑にサービスを提供できる人材の確保・養成         |
| 6. 対応・受入可能な事業所の情報の集約・提供          |
| 7. 事業所間の連携                       |
| 8. その他（ _____）                   |
| 9. 特に必要なことはない                    |

**問11** 貴法人では、今後3年ほどの間にグループホームを開設する意向がありますか。(○は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. オーナーが土地・建物を用意し、法人が賃借して開設したい |
| 2. オーナーが土地を用意し、法人が建物を建設して開設したい |
| 3. 法人が土地を購入し、建物も建設して開設したい      |
| 4. その他（ _____）                 |
| 5. 開設意向はない                     |

**問 1 2** 現在、貴法人にて対応できる医療的ケアと、新たな利用者を受け入れるにあたって対応の必要性を感じる医療的ケアは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

項 目	対応できるもの	必要性を感じるもの
① たん吸引		
② 経管栄養		
③ 導尿		
④ 在宅酸素		
⑤ パルスオキシメーター		
⑥ 気管切開部の管理		
⑦ 人工呼吸器の管理		
⑧ 服薬管理		
⑨ その他 ( )		

**問 1 3** 貴法人では、災害発生時から業務復旧までの計画を整備されていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 震災時の被害想定を把握している	2. 風水害時の被害想定を把握している
3. 震災時の業務復旧計画を整備している	4. 風水害時の業務復旧計画を整備している
5. 発災時の職員体制計画を整備している	
6. その他(具体的に: )	
7. 特に整備していない	

**問 1 4** 災害時に仮に事業所(建物・職員等)が無事であった場合、障がい者の避難所として開設することはできますか。(○は1つ)

1. 自法人の利用者であれば避難所として受け入れる
2. 自法人の利用者に限らず、地域の障がい者の避難所として開設する
3. 避難所として開設するつもりはない(理由: )
4. 避難所として開設はできないが、市から依頼があった場合、職員の派遣は協力できる
5. その他( )

**問 1 5** 貴法人の職員や利用者が、地域の住民と交流する機会がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治区など地域の行事に施設の職員や利用者が参加している
2. 自法人・事業所のイベントに地域住民を招いている
3. 地域住民によるボランティアや施設訪問などを受け入れている
4. 地域住民向けの講習会や勉強会を開催している
5. カフェやラウンジなどを設け、施設を開放している
6. 地域住民向けの見学会を設けている
7. その他( )
8. 特にない

**問16** 貴法人では、今後、共生型サービスの指定を受ける意向はありますか。(○は1つ、指定を受ける予定もしくは検討中の場合は事業種にも○)

- 1. すでに指定を受けている
- 2. 指定を受ける予定 ( 訪問介護 ・ 通所介護 ・ 短期入所生活介護 )
- 3. 指定を受けるか検討中 ( 訪問介護 ・ 通所介護 ・ 短期入所生活介護 )
- 4. その他 ( )
- 5. 指定を受けるつもりはない

**問17** 65歳を迎える方への今後の支援の在り方について、どのように考えますか。(○は1つ)

- 1. 介護保険サービスの事業所に移ってもらうことは仕方がない
- 2. できるだけ共生型サービスを提供できるようにしていきたい
- 3. その他 ( )

**問18** 共生型サービスを推進するにあたってどのような課題を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 共生型サービスについて利用者や家族の理解を得ること
- 2. 職員が共生型サービスの理念、考え方の理解を深めること
- 3. 職員が新たなケアの技術を習得したり、向上を図ること
- 4. 事業に必要な職員体制を整備すること
- 5. 新規事業や助成金の事務手続き
- 6. 通常の指定を受けるよりも介護報酬が下がること
- 7. 利用者の負担が増えること
- 8. その他 ( )
- 9. 特になし

質問は以上です。

最後に、障がい福祉サービス等や行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。


**ご協力ありがとうございました。**

**●月●日(●)までにご返送ください。**